

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2144号

2013年01月07日(月曜日)

《 A Happy New Year 》

「財政の崖」に関する一応の乗り切り合意成立にも関わらず残る先行き不安感や、米12月の雇用統計の基調としての弱さに関する懸念にもかかわらず、ニューヨークの株式市場を中心に世界の株式市場で「はしゃいだ状態」が見られた新年でした。背景に世界的な金融緩和があってそのお金が動き出したのかはまだ不明ですが、市場は「何か好材料を探している」ように見える。

先週金曜日の小幅な上昇を含めて、先週のニューヨーク市場の株価は2011年の12月以来の大幅な週間上げ幅を記録した。S&P500 にいたっては、5年ぶりの高値での引け。今週はこの強気相場を受けての展開となる。「冷めた目」からすると、これだけ株価を上げる材料があったわけではない。金曜日のニューヨーク時間の朝に発表になった12月の米雇用統計に関しては「Tepid Job Growth Fuels Worry」というウォール・ストリート・ジャーナルの記事の見出しが端的に中味を語っている。同紙は以下のように「失業率7.8%、非農業部門就業者数15万5000人増」に関して分析を行っている。

「But the latest jobs data indicated little potential for accelerated hiring in the new year. Growth is expected at best to continue at a moderate 2% pace, barring new shocks to the economy. Prospects for a stronger upturn, at least in the first half of 2013, remain slim. Many economists worry about losing even more ground, especially as lawmakers launch a potentially risky political battle this winter over raising the federal debt ceiling.」

財政、特に今後の「国債発行残高」の引き上げを巡るホワイトハウスと議会の合意がうまく得られるかどうかを巡る不安感を考えれば、今年アメリカ経済が大きく雇用を伸ばす要素は見られない、と分析している。しかし株式市場は「まずまずの雇用の伸び」を好感した。「好感した」と言えば、年越し・新年を挟んでやっとまとまった財政の崖をなだらかにする合意に関しても、マスコミなどの見方は慎重なものだったが、株式市場の反応は目を見張るような展開だった。それ故の2011年12月以来の週間上げ幅記録。FRBも議事録でワシントンでの政争が米経済にもたらす懸念を取り上げている。これもウォール・ストリート・ジャーナルの記事を引用する。

「Minutes of the central bank's latest meeting released this week showed Fed concerns over new risks to the economy by Washington lawmakers. Almost all Fed policy makers "indicated that heightened uncertainty about fiscal policy was probably affecting economic activity adversely," according to the minutes, reducing the confidence of businesses and households, and leading firms to defer hiring and investment.」

はしゃいだのは株式市場ばかりではない。為替市場では円安がほぼ休むことなく進行している。先週末にはついに88円台を海外市場でつけた。78円前後が円の高値だったことを想起すれば、ついに100円円安が来たということになる。ちょっとスピードが速い感じがするが、円安の方向（それが高すぎた円の修正であろうと）は年末に予想した通りです。市場が評価しているのは、米雇用の monthly change を長い目で見ても、アメリカの雇用（非農業部門）が2010年の後半からずっと伸びてきている、という点かも知れない。これはちょっとした安定感です。

エコノミストの目とはまた別にマーケットはマーケットとしての論理がある。その齟齬が結構面白い年明けです。

今週の主な予定は以下の通りです。

01月08日（火曜日）	ドイツ11月の貿易収支 フランス11月の貿易収支 11月のユーロ圏失業率 11月のユーロ小売売上高 アメリカ11月の消費者信用残高
01月10日（木曜日）	ECB理事会 アメリカ新規失業保険申請件数
01月11日（金曜日）	アメリカ11月の貿易収支 12月の財政収支 12月の輸入物価 中国12月の消費者物価・生産者物価

《 have a nice week 》

年末年始はいかがでしたか。私は昨年末からずっとミャンマーに行っていましたので、その疲れを取るために山梨の温泉旅館で二日ほど過ごしました。体をゆっくり休めるため。甲府やちょっと秩父に近い方にも足を伸ばしましたが、関係者はみんなこぼしてました。「笹子トンネルの事故でお客さんが減った」と。年末年始は満員だったそうですが、事故から数えると客室40くらいの旅館で「50組以上のキャンセルがあった」という

ことで、罪作りな事故だと改めて思いました。

ミャンマーの事は、少し落ち着いたらこのニュースでも取り上げようと思います。実に面白い国でした。一つ言うと、とにかく道が酷い。ヤンゴンなど都市部はましですが、郊外に行くと土が固まった道で、とにかく凸凹。バスに乗っていると跳ね上げられるのです。で、お尻が痛くなった。古都バガンで1時間ちょっと自転車を一生懸命走らせたこともあって、今でもちょっとお尻がいたい。

それでは皆さんには良い一週間、一年をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》